

～子どもから大人まで～

社会力が よくわかる連続講座(11)



育てよう
社会力

お問合せ
教育委員会学校教育課
☎ 885-0340(内) 226

4月にこの講座を始め10回で終わる予定でQ & A形式で連載してきましたが、この連続講座を熱心に読んでくれている村民の方からいくつか質問をいただきました。その質問も、社会力をよく理解するためには大事なことです。そこで2回にわたり、いただいた質問に答えることにします。

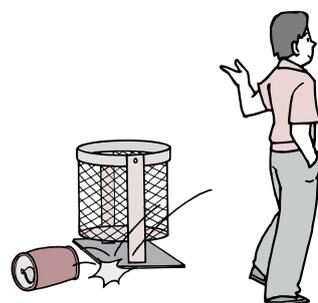
Q11. 「社会力」と似た言葉に「社会性」がありますが、社会性と社会力は同じなのでしょうか。それとも違うのでしょうか。違うとしたらどこがどう違うのでしょうか。

A. 確かに、「社会力」と似たような用語に「社会性」があります。また、社会性という用語は、日本だけでなく世界のほとんどの国で主に心理学者たちによって使われています。

心理学者たちが社会性をどんな意味で使っているかということ、「いまの社会に適応している」という意味で使っています。わかりやすく言えば、「他の人はともかく、自分ひとりだけでもいま生きている社会でうまく生きていける術(すべ)すなわちそのために必要な知識や心得や方法(やり方)を身につけている」ということです。

これに対し、社会力は「他の人たちと仲良くなり、他の人たちと協力しながら、もっと住みよい社会をつくらうと考え、自分ができることを他の人や社会全体のために役立てようとする気持ちや、実際にそういうことができる能力がある」ことを意味しています。

いま、日本は少子高齢化や財政不足など多くの問題を抱えています。そして、日本に限らず世界の他の国も資源不足や温暖化、テロや紛争など様々な問題を抱えて四苦八苦しています。このような難問だらけの社会を変えないと人類社会の将来は危うくなります。ですから、いま人間に必要なのは、問題の多い社会に適応する「社会性」ではなく、社会をより良く変える力(ちから)すなわち「社会力」でなくてはならないことがお分かりだと思います。 《教育長 門脇 厚司》



自衛官等募集案内

◎幹部候補生(一般・大卒程度)◎

受験資格	22歳以上26歳未満の者のうち ・20歳以上22歳未満の者は大卒(見込み含む) ・修士課程修了者等(見込み含む)は28歳未満
------	--

◎幹部候補生(一般・院卒者程度)◎

受験資格	修士課程修了者等(見込み含む)で20歳以上28歳未満の者
------	------------------------------

《募集共通事項》

- ◇受付期間 3月1日～5月6日(締切日必着)
- ◇試験期日 1次: 5月14日・15日(15日は飛行要員のみ)
2次: 6月14日～17日
※海・空飛行要員のみ3次試験あり。



左記以外にも各種の募集があります。また、急遽募集内容等が変更される場合があります。詳細については下記の事務所までお問合せください。

☎問合せ 自衛隊茨城地方協力本部 龍ヶ崎地域事務所(龍ヶ崎市寺後3629-5) ☎0297-64-3351

*自衛隊茨城地方協力本部ホームページにも募集情報を掲載しています。(http://www.mod.go.jp/pco/ibaraki/)